

【島を訪れる、島に帰る】施策の柱44

①予算事業名	企画財政事務運営事業	予算科目	2-1-4-2			基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	交流人口・移住定住人口の増大	
②担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	H30~H32			基本計画の該当箇所	移住定住促進体制の充実 施策の柱44-1	
③事業内容	事業内容としては、企画財政課全般に係る事務事業の遂行に必要な経費全般となっている。 移住希望者のニーズに対応できる体制を整える。 転出時にアンケート協力いただける方に、転出する理由等について、調査を行っており、なぜ転出に至ったかを分析し、移住希望者のニーズに対応出来る体制を整える。							
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度(予定)	32年度(予定)		
	財源内訳	(a) 国庫						
		(b) 県費						
		(c) 地方債等						
		(d) 一般財源	5,600,000	5,208,000	14,756,000	6,000,000	6,000,000	
	計(a~d)	5,600,000	5,208,000	14,756,000	6,000,000	6,000,000		
	特定財源名	(a)または(b)の名称			(c)の名称			
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容						
	平成30年度	転出者へのアンケートの実施 行政主導のもと、中間機構、住民グループ、NPOなどと共に移住希望者に対して久米島の情報を発信し、移住定住に結びつける。						
	平成31年度(予定)	転出者へのアンケートの実施 行政主導のもと、中間機構、住民グループ、NPOなどと共に移住希望者に対して久米島の情報を発信し、移住定住に結びつける。						
	平成32年度(予定)	転出者へのアンケートの実施 行政主導のもと、中間機構、住民グループ、NPOなどと共に移住希望者に対して久米島の情報を発信し、移住定住に結びつける。						
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)	
	アンケートに回答した人数	目標	(/)	(-)	(-)	(-)	(-)	
		実績						
	移住した人の数	目標	(/)	()	()	()	()	
		実績						
事業 成果 効果 等 果	移住相談窓口が一本化され、さらに町の情報を発信することで、移住定住の促進が図られ、安心して久米島に移住することができる。							
⑧写真及び図面								